

「北前船 倉庫に芸術性」

石狩の50人 小樽で歴史学ぶ

石狩の生涯学習講座「いしかり市民カレッジ」の受講生約50人が25日、北前船の歴史を学ぶ講座の一環で小樽を訪れ、小樽運河沿いの倉庫などゆかりのある場所をめぐる。

「続・北前船ものがたり」と題した2回の講座で、初回は10日に石狩市の花川北コミュニティセンターで講義を行い、2回目の今回は実地研修で小樽に来た。

講師は元小樽市総合博物館長の土屋周三さんと小樽商大の高野宏康学術研究員。龍徳寺の船絵馬や住吉神社などを見学し、茨木家中出張番屋でニシン漁と北前船の関係を学んだ。

小樽運河沿いでは、北前船の船主が建てた倉庫について学ぶ参加者

船の船主が建てた倉庫など

をめぐる。土屋さんは「倉庫の造りに芸術的なセンスを盛り込んだのが北前船の船主のビジネスセンス」などと解説した。

(渡辺佐保子)

